

一般社団法人おおさき青年会議所
2024年度理事長所信

理事長 菅原隆之

【はじめに】

おおさき青年会議所は、古川青年会議所として発足してから61年間、地域課題と向き合い、故郷や地域の明るい未来、そして家族の幸せのために、数多くの運動が展開されてきました。組織を築き発展へと導かれてきた先輩方に、敬意を込めて改めて感謝申し上げます。青年は、地域を想い、熱意と情熱を持って率先して行動のできる存在であるべきと私は考えます。これまでの長きにわたる歴史は、青年会議所が掲げる理念のもと、そういった青年たちがこの地域に集い、行動を起こし続けてきたからこそ紡ぐことができたものであり、その地域を想う尊い志は、今の私たちへと脈々と受け継がれています。地域のより良い未来を願うのならば、その志を絶やしてはなりません。先人たちの行動無くして、今あたり前にある私たちの生活はあったでしょうか。私たちが行動せず訪れる未来に希望はあるでしょうか。私は青年が行動を起こさない地域に、良い未来は訪れないと考えます。10年後、20年後の未来を作れるのは、いつの時代も青年だと信じています。だからこそ、私たちは青年の持つ熱意と行動力で、地域のために貢献し続けるべきです。私たちが夢を持ち理想を掲げ、利他の心を持ち、運動を起こし続けることで、地域の意識や行動が変わり、その熱量が高ければ高いほど、運動の波は地域に広域的に広がっていくと私は信じます。私たちは、青年として出来ることを積極果敢に行動し続けます。そして、地域の明るい未来、笑顔あふれるおおさきの実現のため、挑戦し続けることを宣言します。

【人が集まる活力ある地域づくり】

全国の地方都市において、少子高齢化や都市部への人口移動により、定住人口が減少傾向にある中で、観光や二地域居住といった交流人口の増加は、地域を支える上で重要な基盤となります。コロナ禍が鎮まってきた今だからこそ、交流人口増加へ向けた取り組みがこの地域には必要であると考えます。地域ビジョンとして「人が集まるおおさき」を掲げている私たちだからこそ、その課題に向き合い運動を起こすべきです。おおさき地域には数多くの魅力があります。その魅力を、より多くの地域外の人たちに知って頂くきっかけとなる、運動の起点となる事業を創造することが今こそ必要です。様々な組織と相互理解による協働関係を築き、よりインパクトのある事業で共に運動を起こすことで、その運動が地域内外へと広がり、よりおおさき地域へ関心と愛着を持つ人が増えることにつながっていきます。

人が集まるおおさきの実現へ向け、地域の魅力を発信するインパクトのある事業を創造します。

【未来を担う子どもたちの健全育成】

子どもは、この先の時代を担う大切な宝であり、地域の未来を創造するかけがえのない存在です。近年の子どもたちは、子ども会や町内会といった地域コミュニティ活動の減少から、学校や家庭以外での体験学習や、学年や学校を越えた子ども同士の交流の経験が少ない傾向にあります。文部科学省の発表によると、子どもの頃の体験活動は、長期間経過してもその後の成長に良い影響を与えると示されています。おおさき地域の子どもたちが健やかに育つことこそが、私たちの地域の明るい未来に直結します。大人や様々な年齢の友人との交流など、地域社会と深く関わり合う機会が増えることで、子どもたちが安全安心に暮らせる地域となるとともに、郷土愛の醸成へとつながります。子育て世代である私たちだからこそ、次代を担う子どもたちの健全育成への意識を高く持ち、子どもたちの意見を取り入れ、地域とともに行動を起こさなくてはなりません。子どもたちが自分自身でより良い未来を描き、活躍する基礎を築くため運動を展開してまいります。

未来を担う子どもたちに、地域とつながる体験の機会を提供します。

【未来を明るく照らす花火大会】

おおさき花火大会は、おおさき地域の夜空を彩る夏の風物詩として地域に愛され続けてきました。毎年、多くの企業や、関係各所からのご協力を頂きながら、子どもたちの笑顔のため地域とともに作り上げてきました。昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルスの影響による物価高騰で開催が危ぶまれる中、地域からの多大なるご協力のもと、多くの来場者をお迎しての4年ぶりの通常開催となりました。花火大会は子どもたちの心に原風景として残り続け、子どもたちの郷土愛を育むことにつながります。未来を明るく照らす花火を、今年も心待ちにしている子どもたちが大勢います。私が子どもの頃も、8月2日が近づくと心を躍らせていました。子どもたちが心待ちにしている花火大会を開催し続けてきた先人たちの想いを引き継ぎ、次の世代へと紡いでいくことで、この地域の未来が明るく照らされ続けると私は信じます。より安全安心な花火大会開催へ向け、青年の熱意と行動力を持ち一丸となって準備を進めるべく、まずは私たち一人ひとりが花火大会に夢や理想を持ち、それらを形にするために行動を起こして参ります。

子どもたちの笑顔のため、本年度もおおさき花火大会を開催いたします。

【未来へつなげる会員拡大】

地域を想い夢や理想を掲げたとしても一人では決して実現することは出来ません。我々には志を同じくする仲間が必要です。地域をより良くしたいと願う青年は、この地域に多く存在しているはずです。その青年たちが我々の運動に共感し行動を共にすることで、先人たちから受け継がれてきた志が未来へと紡がれていきます。そして、より多くの同士が集うことで、我々の生み出す運動はより大きいものになり、これまで以上に大きな夢や理

想を掲げられるようになります。地域の明るい未来を実現するのならば、我々は常に仲間を増やし続け、持続可能な組織であり続けなければなりません。そのために、おおさき青年会議所に所属する会員一人ひとりが青年会議所を理解し、率先して地域のために活動する姿を示し、我々の志を未来へと伝え続けていく必要があります。

会員拡大活動をおおさき青年会議所の基本運動と位置付け、20名以上の拡大に挑戦し続けます。

【会の要となる会議運営と情報発信】

青年会議所は文字通り青年が会議をする組織であり、その会議の場は、実施される事業や組織の方針を決定する会の要となっています。だからこそ、規則に遵守して行われるべきであり、会議一つひとつを丁寧かつ円滑に行うことで、適切な会の運営につながり、会議の中で活発な議論がなされ、より良い事業が生み出されます。そして、私たちの夢や理想、熱意とともに、その事業の一つひとつを地域に発信することで、地域からの共感が得られ、地域とともに運動を広げることにつながります。青年会議所の活動に理解と賛同を得られるよう、青年である私たちの志を広く伝えてまいります。

会の要である会議運営と情報発信で、より良い事業を地域へと展開して参ります。

【未来を見据えた交流】

青年会議所は世界、全国、各地方で活動しており、そのスケールメリットを活かした様々な交流があります。おおさき青年会議所の中でも、大会への参画や出向による各地青年会議所との交流や、姉妹 JC、友好 JC との交流、地域においては活動を通して様々な団体との交流があります。それらの交流を通して得た学びは地域へと還元され、より良い地域の未来へとつながります。

地域を想い地域のために行動している団体は数多くあります。それらの団体との相互理解を深め、互いに友情や学びを深めることで、共に協力し合い課題解決に向けて取り組めるようになり、有事の際には手を取り合い助け合えるような関係の構築につながります。その先には、おおさき青年会議所だけではできない、組織連携による大きなインパクトを地域へ起こすことが可能となっている未来があります。先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代だからこそ、地域内外のさらなる連携強化が必要です。

おおさき青年会議所の運動の発展を見据えた交流の機会を創出します。

【結びに】

私は青年会議所に入会する前は、自分に自信もなく地域への関心も低く、地域課題に対しても深く考えず傍観していました。ある時、地域のことを思い、地域のために真剣に考え行動している同世代の姿を目の当たりにし、自分でも出来ることで何か手伝えなにかと思ひ、青年会議所への入会を決意しました。入会してからこれまで、様々な役職から多く

の経験を得て、様々な事業から多くの失敗や成功を体験し、人生を変えうる学びや仲間との出会いを経験し、仲間とともに地域について熱く語り合いながら活動してきました。青年会議所という組織が与えてくれたそれらの機会によって、知らず知らずのうちに、自分に自信が持てるようになり、地域も、仲間も、あたりまえのように自分事として考えるようになっていました。私が入会前に感じていなかったこの感覚や、体感してきた青年会議所の魅力が地域に広く伝播することで、地域は必ず良くなると信じます。私を変えた機会の一つひとつは、常に挑戦する姿勢で前向きな選択をしなければ得ることはできません。青年会議所は40歳までの組織です。青年である今だからこそ仲間を信じ、勇気と情熱を持って挑戦し続けましょう。その志が未来へと受け継がれ、より良い未来へと必ずつながると信じて。